

## 企業概要

企業名	<b>CONCERIA ITALPEL</b> (イタルペル社)		
所在地	Via dei Bottali, 3/5/7 56024 Ponte a Egola (PI)		
Tel	+39 057 498355	E-Mail	<a href="mailto:info@italpel.net">info@italpel.net</a>
製品	植物タンニンなめし革 (カウショルダーとブルフロント) <b>シューズ、レザーグッズ、ベルト用</b>		
企業紹介	<p>トスカーナの中心部、フィレンツェの丘陵地帯とティレニア海の海岸の中間地点に、地域の主要工業エリアの1つである皮なめし業地区があります。</p> <p>このポンテ・ア・エゴラのアルノ川左岸を拠点とする ITALPEL は、中世とフィレンツェ・ルネッサンス期の革職人組合ギルド (Arte Minore dei Cuoiari and Galigai) を起源とするトスカーナ伝統の植物タンニンなめしを専門とするタンナーです。</p> <p>Quagli 家と Nigi 家がなめし業の協働体制を開始したのは、1960 年代のこと。この結びつきが発展して 1985 年、なめし工場 ITALPEL が誕生し、ソールレザーの製造を始めました。次第に地域を特徴づける伝統を受け継ぎ、技術革新と融合させながら、時代に合ったユニークかつ職人技による製品を生み出したいという願いにより、植物タンニンで処理した牛革「バケッタ (vacchetta)」の生産に特化するようになりました。</p>		
製品紹介	<p>トスカーナのベジタブルタンニングは、皮革をピット槽またはドラムに入れ、ケブラチョ、ミモザ、栗などのエキスからなる天然由来のタンニン混合液に数日間浸して行われる時間のかかるプロセスです。なめし処理がすんだ皮は牛脂で柔軟性を出し、本格的なトスカーナの「バケッタ」レザーになります。</p> <p>ITALPEL では、ベジタブルタンニン処理によるカウショルダーとブルフロントのレザーをシューズ、レザーグッズ、ベルト用にさまざまな厚みと仕上げで生産しています。製造は完全にトスカーナで行われています。食品産業の副産物であるヨーロッパ産の牛の原皮のみを使用し、社内において生産プロセスのすべての段階で適格性を審査しています。</p> <p>クラシックでタイムレスなアイテム、型押し、また流行にインスパイアされた新しい提案を豊富なカラーバリエーションで展開しています。コレクションの定番品をはじめ、ご要望に応じてお好みの製品を作るバリエーションもご用意。お客さまのデザインに基づく特別な仕上げ、型押し、レーザーエッチングなど、創造的に手を加えることで、レザーを限定のオーダーメイド商品にいたします。</p>		